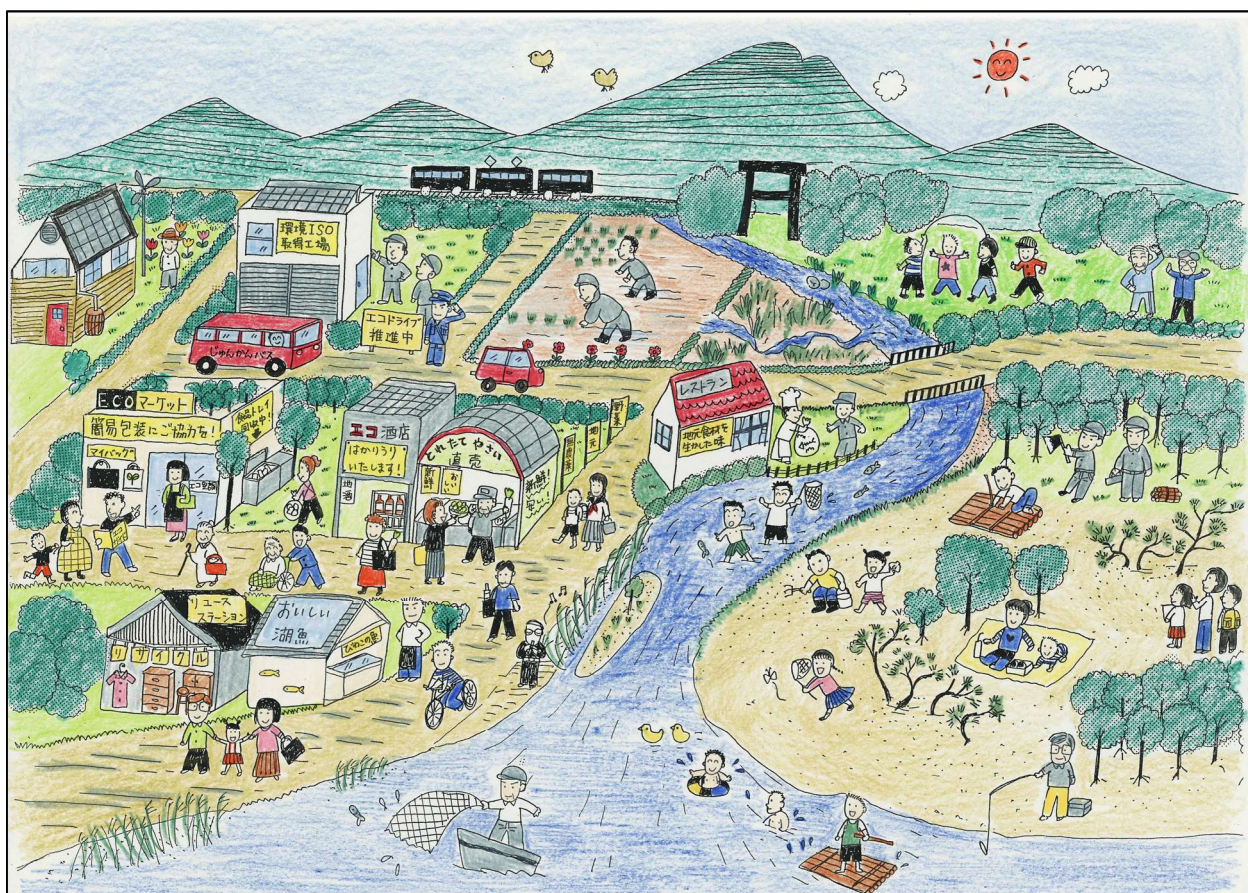


# 環境基本計画推進会議

## 「水と緑・安心の野洲」



### 令和5年度 通常総会 議案書



と き: 令和5年4月22日(土) 10:00~  
ところ: コミュニティセンターきたの 大ホール

# 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」 令和5年度 通常総会

令和5年 4月 22日（土） 10：00～  
コミュニティセンターきたの 大ホール

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

第1号議案	令和 4 年度事業報告について
第2号議案	令和 4 年度収支決算報告について
第3号議案	令和 5 年度事業計画（案）について
第4号議案	令和 5 年度予算（案）について
第5号議案	役員改選（案）について

4. 閉 会

5. 取組紹介

# 第1号議案

## 令和4年度 事業報告

### <活動実績（総括）>

令和3年度より第2次野洲市環境基本計画の中間見直しを行い、それぞれ位置付けられた重点プロジェクトを展開しました。

まちなかの緑づくりプロジェクトでは、野洲川北流跡地での緑化推進、事業所と協働での自然環境調査等、定期的な保全活動に努めました。

エコ資源部会では今年度から地球温暖化防止推進センターに協力を得て環境学習会（エコな暮らし方について）を実施しました。また、環境保護団体が取り組んでいる衣服等の無償譲渡会の参加や、クリーンセンターで常設している陶磁器類を無償で出品する等、ごみの資源化に努めました。

ごみを減らそうプロジェクトでは今年度から市民対象とした、フードドライブを試行的に実施し、食品の有効利用に努めました。また、年に2回、市内公共道路のごみ拾いを実施し、不法投棄の抑制対策に努めました。

川部会では、ビワマスが遡上しホタルが生息する川の清掃を定期的に行いました。また、ビワマスを戻すプロジェクトでは、過去最高のビワマスが川に戻り、取り組みの成果が現れました。3年ぶりにビワマスフォーラムを開催でき、過去の実績報告や意見交換会等を行いました。

山部会では、続々と新規メンバーが増え、活動に更なる活気が出てきました。

びわ湖部会では、3年ぶりに砂浜学習会を開催する等、コロナウイルスの収束が見えないなかでしたが、規模縮小で実施しました。

事務局では様々な世代へ情報が伝わるよう、SNS(インスタグラム)を開設し、定期的な投稿に努めました。

それぞれの部会がそれぞれのフィールドで目標や想いを持ちながら環境活動に取り組みました。詳しい実績については、4ページからご覧ください。

### 運営委員会の開催

第1回（令和4年4月）通常総会(書面議決)について 等

第2回（令和4年6月）通常総会(書面議決)の結果、環境基本計画進行管理について 等

第3回（令和4年8月）えこっち・やす全体の取組イベントについて 等

第4回（令和4年10月）令和5年度予算について 等

第5回（令和4年12月）令和5年度通常総会について 等

第6回（令和5年2月）令和4年度予算執行状況、令和5年度通常総会について 等

各プロジェクトの活動の実績、事業報告は以下のとおりです。

<活動実績（各プロジェクト）>

## 令和4年度 プロジェクト活動の実績

自然に関すること

※人数は延数で概算含む

	概要	回数	人数	プロジェクト名	
緑	河辺林保全活動	33	462	まちなかの緑づくりプロジェクト	
	カブトムシ幼虫観察会	2	232		
	タケノコ掘りイベント	1	54		
	秋の自然の森ふれあいイベント	1	53		
	光と竹のカーニバル	2	1,000		
	樹木の管理と剪定講習会	1	24		
	小計	40	1,825		
川	家棟川エコ遊覧	4	45	みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト	
	ピワマスフォーラム	1	52		
	ピワマス産卵床造成活動	2	42		
	河岸清掃活動	19	167		
	家棟川流域生態調査	2	29		
	小計	28	335		
里山	里山保全活動	38	371	里山を守り育てるプロジェクト	
	子どもや市民が里山に親しむ活動	11	310		
	森づくり塾	2	43		
	野洲の山を知る探索	2	19		
	小計	53	743		
びわ湖	湖岸清掃活動	9	149	びわ湖を守ろうプロジェクト	
	砂浜学習会	1	18		
	琵琶湖に親しむイベント（あやめ浜まつり）	コロナによる中止			
	漁民の森づくり事業	1	78		
	びわ湖学習会・ヨシ苗ポット作り体験	3	294		
	ヨシ群落再生（ヨシ植え）	2	314		
	小計	16	853		
自然に関すること		小計	137	3,756	

ごみ・資源に関すること

	概要	回数	人数	プロジェクト名	
環境学習	出前講座（リサイクルペーパーアート）	コロナによる中止		ごみの資源化プロジェクト	
	出前講座（エコキャンドルづくり）	コロナによる中止			
	環境学習会	1	13		
リユース	リユース物品無償譲渡（常設展示）	通年	245		
ごみ・資源に関すること		小計	1	258	

まち・くらしに関すること

	概要	回数	人数	プロジェクト名	
ごみ減量	出前講座（食品ロス削減啓発劇・雑がみ分別啓発）	4	226	ごみ減量プロジェクト	
	マイバッグ持参・食品ロス削減啓発キャンペーン	4	400		
	リユース等に関する研修	コロナによる中止			
緑のカーテン	公共施設緑のカーテン大作戦	1	—	地球温暖化対策推進プロジェクト	
まち・くらしに関すること		小計	9	626	

合 計		147	4,640	
-----	--	-----	-------	--

平成 19 年度	32 回	1,445 人	平成 24 年度	124 回	4,890 人	平成 29 年度	159 回	4,461 人
平成 20 年度	66 回	1,901 人	平成 25 年度	149 回	5,614 人	平成 30 年度	175 回	5,336 人
平成 21 年度	111 回	3,888 人	平成 26 年度	206 回	5,786 人	令和元年度	161 回	4,904 人
平成 22 年度	95 回	3,692 人	平成 27 年度	188 回	6,241 人	令和2年度	149 回	3,263 人
平成 23 年度	124 回	4,015 人	平成 28 年度	193 回	4,287 人	令和3年度	142 回	3,558 人



## まちなかの緑づくりプロジェクト

実施主体：緑の推進委員会  
やす緑のひろば

### ① 河辺林の保全活動（32回実施 延べ448名）

野洲川河辺林（野洲川北流跡自然の森）において、毎月3回の定例活動を中心に以下実施しました。

一定のエリアで侵入竹を計画的に伐採、チップ化。新たに伸びた若竹も複数年掛けて継続的に伐採しました。どんぐり広場、実生広場を中心に実生の若木の枝打ちや下草刈り、そして散策路の周辺の藪の整備、及び隣接のミニ三上山、ミニミニ三上山周辺の草刈り整備も実施しました。

また、従来からの山部会との協働の竹林整備、オムロン野洲事業所との希少種マイコアカネ生息地整備も実施しました。



### ② 河辺林での自然体験学習イベント

主な内容は以下のとおりです。

#### ▶ カブトムシ幼虫観察会、森探索会

（6/2：2年生 120名、6/25：4年生 112名）

北野小学校2年生はカブトムシの幼虫観察会、及び森探索行い、4年生は自然の森を守るため、自分たちで出来ることを考える観点での森探索を行いました。

#### ▶ タケノコ採りイベント

（6/12 参加者 36名 スタッフ 18名）

子供とその保護者の皆さんが、自然の森を巡りながらタケノコ採り、また焼きタケノコを試食し、自然の中で楽しんでいただくことができました。

#### ▶ 自然の森ふれあいイベント

（11/12 参加者 34名 スタッフ 19名）

子どもとその保護者の皆さんが、森の探索やネイチャーゲーム、竹細工そして竹飯や焼き芋も味わい、楽しみながら自然にふれあいました。

#### ▶ 光と竹のカーニバル

（11/5,11/6 一般参加者 1000名）

野洲青年会議所と協働で、竹で組んだヒンメリ灯り、透かし彫りの竹灯り、灯に映える竹トンネル、三上山などを模した竹オブジェなど、森の中で灯りを楽しむ光と竹のカーニバルを実施しました。自然の森を知ってもらう良い機会になりました。



### ③ 子供連れ団体の森の交流会などの支援

遊び畑、はぐハウス、生活クラブ滋賀など子育てママさんグループの自然の森に親しむイベントを協働。森案内などの支援を行いました。



#### ④ 公共施設などの緑化

- 野洲市図書館、北野小学校、コミセンきたの等、それぞれの地域の団体と協働で樹木の剪定などの整備を行いました。
- 樹木苗の定植（3月）  
緑募金事業から苗木配布の支援いただき、野洲図書館、大篠原の貯木場などに、ヤマモミジ、ケヤキ、ハナミズキなど合計 15 本、レイカ野洲、山部会と協働にて実施しました。

#### ⑤ 緑化のための研修・啓蒙

樹木の管理と剪定講習会（3/12 一般参加者 12 名）  
公園や公共施設などの樹木を市民の皆さんと協働で整備できるように、一般市民対象の講習会を開催しました。樹木医の先生より樹木の特性を理解した管理方法を学び、実習を兼ねてコミセンきたの敷地内の樹木の剪定整備を行いました。



#### ⑥ 自然の森への高専設置に伴う緑地の保護活用

自然の森約 4.3ha の 70%を高専にて占有される計画となっており、知恵を絞り、可能な限り自然環境を保護活用できるように市や県の担当部署と協議をしました。

### 第2次野洲市環境基本計画：基本目標2「循環型社会・脱炭素型社会づくり」

## ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会

#### ① 環境学習会

- 第1回環境学習会～節電編～（6/29 参加者 13 名）  
地球温暖化防止推進センターの協力を経て、地球温暖化防止に関する市民向け学習会を開催しました。現在使用している家電製品と昭和 30 年代に使用していた家電製品との比較を行い、過去の暮らしを知ることや、使わなくても良い家電製品について話し合いました。また電気使用量を電力計で測定し、電力を使用する中で身近に節電できる工夫を学びました。



#### ② 廃食油の回収（毎月第4土曜日 10時から 12時 全12回）

野洲市役所にて廃食油を集めました。多くの方に参加していただくため、今年度からのぼり旗を立てて啓発しました。

また、野洲市内公共施設 13 箇所に回収ボックスを設置しています。集まった廃食油は、ともに全てリサイクルされています。

##### ➤ 回収の実績

実践主体	令和4年度実績	令和3年度実績
エコ資源部会	712 リットル (持ち込み人数 65 人)	994 リットル (持ち込み人数 94 人)
野洲市回収ボックス (市内 13 箇所)	3,821 リットル	3,495 リットル
合計	4,533 リットル	4,489 リットル

### ③ 体験型出前講座

体験型出前講座（リサイクルペーパーアート、エコキャンドル）についてはコロナ禍のため募集は行わず、中止とさせていただきます。

### ④ リユースステーションでの無償譲渡(野洲クリーンセンター)

家庭で不要となり、廃棄物として届いたものを再利用していただくための活動で、昨年度から野洲クリーンセンターで常設展示をはじめ、多くの市民にご利用いただくことができました。



▶ 常設展示及び譲渡会での譲渡数等

種類	来場者数	譲渡数	総重量
家具類	133名	142点	1,329kg
食器類	112名	574点	134kg

### ⑤ 視察研修

あいとうエコプラザ菜の花館(次年度に延期)

## ごみ減量プロジェクト

実施主体：ごみを減らそうプロジェクト

### ① 出前講座等での啓発活動

▶ 雑がみ講座

市内小学生を対象に、身近な雑がみをテーマに「ごみ」と「資源」の分け方や、不法投棄、食品ロスなどについて講座を行いました。

講座後には小学生に啓発ポスターを作成していただき、学校区の自治会に掲示し、市民への啓発を行いました。

来年度についてもコロナの感染状況を鑑みながら、可能な限り対面での実施を検討していきます。

実施日	会場	人数
9月8日	北野小学校	121人
9月22日	三上小学校	27人
10月21日	篠原小学校	28人



▶ 食品ロス寸劇出前講座(11/1 参加者50名)

食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)を削減することを目的に、市内自治会や、ふれあいサロンにて食品ロスの寸劇を実施しました。寸劇をみて、「賞味期限までに食材を利用します。生活の中で工夫をしています。」といった声がありました。

### ② 環境に優しい買い物キャンペーンの実施

昨年度に続きコロナ禍のため、県との協働での取り組みは中止となりましたが、市と連携して市内4店舗でプラごみ削減や食品ロス削減を呼びかけました。また、キャ



ンペーンに先立ち、ごみを減らそうプロジェクト独自の啓発ポスターを作成し、市内小売店舗や自治会、コミュニティセンター等に協力を呼びかけ、掲示しました。

実施日	啓発店舗
10月24日	平和堂アルプラザ野洲
10月25日	丸善野洲店
10月27日	ザ・ビックエクストラ野洲店
10月28日	魚忠ママセンター



### ③ ごみ減量等に関する学習会

中主子ども食堂の田中氏からフードドライブについて講演いただきました。

その後、フードドライブで集まった食品を中主子ども食堂に寄贈し、団体との連携を図りました。

### ④ 雑がみ啓発ポスターキャンペーン(野洲クリーンセンター)

雑がみ講座を実施した小学生に、雑がみ啓発ポスターを作成してもらいました。

作成したポスターは、野洲クリーンセンターに掲示し、リサイクルの普及啓発に努めました。

### ⑤ フードドライブの実施

各コミュニティセンターや図書館等、市内公共施設でフードドライブを実施し、328点 110.5 kgを提供いただきました。集まった食品はフードバンクびわ湖や中主子ども食堂に寄贈しました。



## 地球温暖化対策推進プロジェクト

実施主体：えこっち・やす事務局（環境課）

### ① エコドライブの啓発

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及を図るため、ホームページにてエコドライブを呼びかけました。

### ② 気候変動対策の啓発と事業所との連携

#### ➤ 緑のカーテン

窓から入る日光を遮り、室内の気温の上昇を抑えることを目的に、庁舎内や子ども園、市内公共施設で緑のカーテンを実施しました。

#### ➤ P&G と連携した環境学習会

P&G は世界に 110 工場程ありますが、その中で滋賀工場は 1 番環境に優しい工場と言われており、様々な環境活動に取り組んでおられます。今回はその一環として、環境学習会及び工場見学に祇王小学校 6 年生が参加されました。環境学習会では、ごみの分別や食品ロス、プラスチックごみ問題等について学習しました。その後、P&G の環境に関する活動紹介をしていただきました。環境学習会の後、工場見学とカードゲームに分かれて実施し、カードゲームでは子どもたちが話し合いながら取り組んでいる姿が見られました。





## みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

実施主体：NPO法人家棟川流域観光船  
 家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト  
 祇王井川・中ノ池川の清流を守る会

### ① 河川清掃活動(19回実施 参加者 167名 ゴミ回収量 1,160 kg)

市民や市民団体などと協働でビワマスが遡上しホタルが生息する中ノ池川、祇王井川・童子川の河川清掃を実施するとともに、のぼり旗を立てて不法投棄対策の啓発を行いました。

### ② ビワマスを戻す取り組み

#### ➢産卵床の造成(10/6、11 参加者 42名)

遡上したビワマスが産卵しやすい川床にするため、川底の土砂をかき出す作業や、砂利を追加で投入し産卵床を造成しました。



産卵床造成

#### ➢遡上調査、密漁対策見回り(10/15~11/30)

産卵のために遡上してくるビワマスの数の確認や禁漁期間に密漁者がいないかの確認のため、毎日調査を行いました。

#### ➢ビワマスフォーラム(令和5年2/4 参加者52名)

3年ぶりの開催となり、これまでのビワマスを戻すプロジェクトの取り組みなどについて報告するとともに、地域の皆様を交えて、これからビワマス保全を広げることについて意見交換を行いました。



ビワマスフォーラム

#### ➢稚魚調査(令和5年3/10 参加者18名)

主に産卵床を造成した箇所に稚魚がいるのか、調査を行いました。今年度は落差工に魚道を設置していないため、上流の調査は行いませんでした。ビワマスの稚魚の他、カマツカ、ヤリタナゴ、ウキゴリ、ヨシノボリ等も確認できました。

場所	調査時間	稚魚数
童子川(一本橋下流)	40分	8匹
中ノ池川(穂波橋)	20分	11匹
中ノ池川(東込田川合流地点)	30分	8匹
中ノ池川(バープ工)	30分	0匹
		計 27匹



ビワマス稚魚

### ③ 河川の生態調査

#### 魚道上流(中ノ池川)の魚類調査(10/12 参加者10名)

中ノ池川上流で魚類調査を行いました。調査した結果、カマツカ、ハイジャコ、ドンコ、ボテジャコなどの魚類が確認できました。

# 里山を守り育てるプロジェクト

実施主体：山部会

## ① 里山・林道の保全作業（38回実施 延べ371名）

### ➤小堤生産森林組合のエリア

城山主郭の草刈りと整備、城山登山道の整備やロープ張替え、登山道入口の路肩整備を中心に行いました。また、生産森林組合の依頼による植林地の間伐作業も行いました。

### ➤大篠原生産森林組合のエリア

旧林道の道整備、古城山の登山道、桜本池や曲輪の整備、また活動事業「タムシバ山花登山」「森づくり塾」などのための会場整備などを行いました。



## ② 子どもや市民が里山に親しむ活動（11回実施 延べ310名）

例年実施し定着化している活動で、市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさを伝え、里山の自然の大切さ、重要性について理解を深めていただきました。主なイベントは以下のとおり。

- 春のタムシバ山花登山(4/2 参加者 27名)
- 環境を考える会/古城山登山 (4/10 参加者 4名)
- 里山自然観察会(5/2 鳴谷ハルリンドウ 参加者 4名)  
(6/25 鳴谷カキラン 参加者 9名)  
(8/27 鳴谷サギソウ 参加者 7名)
- 篠原学区老人会健康ウォーク  
小堤林道ウォーク (5/19、10/2 参加者 78名)
- 篠原子ども会ハイキング/古城山 (6/5 参加者 12名)
- 秋の里山登山/古城山～吉祥寺山(11/26 参加者 22名)
- 木エクラフトづくり  
コミセンぎおう子どもクラブ (8/4 参加者 51名)  
環境フェスタ 2022/ (11/13 参加者 71名)
- 城山初日の出登山 (1/1 参加者 25名)



## ③ 森づくり塾の実施（2回実施 43名）

山部会員や市民が山作業の仕方や生き物・山作業・里山の歴史について実習学習し、里山案内人としての技量や知識を得るために実施しました。

- 星が崎城跡と周辺文化財巡り (6/4 参加者 21名)
- 里山の材料でつる籠・リースを作ろう (12/3 参加者 22名)

## ④ 野洲および近隣の山を知る探索（2回実施 19名）

毎月第4土曜日に、里山の現状や季節ごとに変化する里山の面白さを知る探索を行いました。各種事業の下見として登山コース等の確認を行いました。

- 岩瀬谷古墳～十二坊山/湖南省市 (5/14 参加者 12名)
- 貯木場～荒川源流 (10/22 参加者 7名)

## ⑤ 他の団体やプロジェクトとの協働活動・交流(6回実施 52名)

山の整備や保全活動のノウハウを生かして、他のプロジェクトの保全活動やイベントに参加し、協働することで相互理解を深めました。

- えこっち・やす協働でのごみ拾い  
(10/26 参加者 19名)
- 緑の推進委員会と協働  
(6/18 参加者 11名、2/18 参加者 11名)
- 大篠原生産森林組合と協働  
(11/27 参加者 5名、3/12 参加者 5名)
- びわ湖の水と地域の環境を守る会主催：漁民の森の植樹  
(漁業組合・生産森林組合とも協働：3月12日/参加者 14名)
- クリーンセンター裏山のタゴガエル生息調査(2回 12名)  
(5/2 参加者 8名、9/26 参加者 4名)

## びわ湖を守ろうプロジェクト

実施主体：びわ湖の水と地域の環境を守る会  
野洲市びわ湖を守る会

### ① びわ湖環境学習とヨシ苗づくり (3回実施 延べ 294名)

公益財団法人淡海環境保全財団と連携し、中主小学校4年生を対象にした環境学習で、びわ湖とヨシについて学習会とヨシ苗作りを行いました。子どもたちに学校の池で苗を育ててもらい、琵琶湖の水質改善と多様な生物の棲み処となることを願って子どもたちが秋に湖岸へ移植しました。

- 1回目：びわ湖環境学習会 (7/7 98名)
- 2回目：ヨシ苗ポットづくり (7/7 98名)
- 3回目：ヨシ植栽 (11/30 98名)



### ② ヨシ群落再生事業及びヨシ群落の経過観察

企業のサステナビリティ活動によるヨシ植栽支援の他、各種団体や事業所等と連携しヨシの植栽を行う市民参加型イベントを開催しました。またイベントでは、湖岸の景観を保全するため、松林の保全(下草刈作業)も行いました。

- 滋賀ダイハツ販売(株)による植栽 (11/3 96名)
- ヨシ群落再生&松林保全 (11/7 175名)



### ③ 砂浜学習会 (5/22 18名)

琵琶湖に親んでもらうために、船に乗船して、事前に仕掛けていた網を回収すると、フナなど20匹程の魚が掛かっており、参加者に獲れた魚のサイズの計測を行ってもらい、魚と触れ合う機会を設けました。また、あやめ浜に漂流しているごみが多くあり、ごみ拾いも実施しました。その後、琵琶湖の環境問題などの話を行いました。





#### ④ あやめ浜まつり（コロナ禍のため中止）

#### ⑤ 漁民の森づくり事業（3/4 参加者 123 名）

びわ湖の水源を守るために、漁業関係者と生産森林組合が協力し、関係団体などにも呼びかけ、水源となる山（大篠原地先）に植樹を実施しました。新型コロナウイルスの拡散防止のため、規模を縮小し関係者のみで実施しました。

#### ⑥ 湖岸周辺の清掃活動（年間を通じて延べ9回 参加者 149 名）

あやめ浜周辺の湖岸清掃を年間通じて実施しました。多量の散在性ごみや河川から琵琶湖へ流入した漂着ごみを回収しました。

### 第2次野洲市環境基本計画：基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」

## みんなで環境学習プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
（事務局：環境課）

#### ① 学びの場の提供

野洲クリーンセンターを啓発や体験活動の拠点としており、やす環境フェスタ2022では木工クラフトづくり体験やリユース品の無償譲渡、啓発パネルの展示を行いました。

#### ② 出前講座や環境学習

各プロジェクトで、それぞれのテーマに沿った出前講座を用意していましたが、コロナ禍のため中止となりました学校等へ環境学習に取り入れてもらうよう働きかけや調整を行いました。

#### ③ 広報やす・インターネット等による情報発信

広報やすやインターネットによる情報発信を行い、各種環境学習の周知広報を図った。また必要に応じて小学校や自治会へ周知案内を行いました

## 環境活動支援プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
（事務局：環境課）

#### ① ニュースレターの発行

夏季、冬季の2回にわたり、各プロジェクトの活動概要をニュースレターとして、会員はもちろん、自治会回覧や環境保全協定締結事業所等に送付し、周知しました。令和4年度から、市のホームページのQRコードに加え、インスタグラムのQRコードを新たに設け、えこっち・やすの活動を広く紹介しました。

## ② 広報やす・インターネットによる情報発信

今年度からSNSによる情報発信を始め、各プロジェクト活動の周知広報を図りました。また、活動のイベント案内や活動紹介を広報やす、市ホームページ、やすまる広場を通じて広く周知しました。

【広報やす 19回、野洲市ホームページ 7回、SNS(インスタグラム) 17回】

年月	プロジェクト	方法	内容
令和4年5月	びわ湖を守ろうプロジェクト	SNS	砂浜学習会について
令和4年6月	エコ資源部会	広報	環境学習会節電編について
令和4年6月	事務局	広報	環境月間について
令和4年6月	事務局	SNS	廃食用油回収ボックス周知
令和4年6月	事務局	SNS	祇王小学校環境学習会について
令和4年6月	まちなかの縁づくりプロジェクト	SNS	タケノコイベントについて
令和4年8月	川づくりプロジェクト	広報・HP	家棟川ピオトープ夏の自然観察会の案内
令和4年8月	事務局	HP	ニュースレター38号について
令和4年8月	事務局	SNS	陶磁器類の無償譲渡について
令和4年9月	琵琶湖を守ろうプロジェクト	SNS	中主小学校琵琶湖環境学習会について
令和4年9月	ごみを減らそうプロジェクト	SNS	雑がみ出前講座について
令和4年10月	事務局	HP	グリーン購入+エシカルキャンペーンについて
令和4年11月	エコ資源部会・山部会	広報・HP	環境フェスタの案内
令和4年12月	川づくりプロジェクト	HP	家棟川ピオトープ冬の自然観察会の案内
令和4年12月	ごみを減らそうプロジェクト	広報・SNS・HP	フードドライブについて
令和4年12月	川づくりプロジェクト	SNS	産卵床造成について
令和4年12月	ごみを減らそうプロジェクト	SNS	環境に優しい買い物キャンペーンについて
令和4年12月	えこっち・やす	SNS	えこっち・やす全体の取り組みイベントについて
令和5年2月	事務局	HP・SNS	ニュースレター39号について
令和5年1月	川づくりプロジェクト	SNS	ピワマス遡上動画について
令和5年2月	川づくりプロジェクト	広報・SNS	ピワマスフォーラムについて
令和5年2月	事務局	広報・SNS	環境学習講座について
令和5年2月	ごみを減らそうプロジェクト	SNS	フードドライブの結果について
令和5年3月	川づくりプロジェクト	SNS	稚魚調査について
毎月	エコ資源部会	広報	廃食用油回収の案内

## ③ ロゴマークによる周知

活動時にはえこっち・やすロゴマーク入りスタッフベストを着用し、また周知の際には、ロゴマークを配置して認知度を高めました。

## ④ 各プロジェクト支援、管理等

事務局の取り組みとして、各プロジェクトの支援や把握、調整を行いました。

## 第2号議案

### 令和 4 年度 収支決算報告

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
会 費	101,500	0	101,500	68,000	△ 33,500	個人 @ 500 × 40 (内、過年度分 3) 市民団体 @ 1,000 × 12 (内、過年度分 0) 自治会 @ 1,000 × 16 (内、過年度分 0) 企業 @ 2,000 × 10 (内、過年度分 0)
補 助 金	1,546,000	0	1,546,000	1,546,000	0	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
雑 入	10	0	10	510	500	寄付金500円、預金利子10円
繰 越 金	338,060	0	338,060	338,060	0	前年度繰越金
合 計	1,985,570	0	1,985,570	1,952,570	△ 33,000	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
事 業 費	1,546,000	0	1,546,000	1,483,262	62,738	まちなかの緑づくりPJ 149,334 円 ごみの資源化PJ 24,165 円 ごみ減量PJ 69,825 円 地球温暖化対策推進PJ 11,746 円 みんなが親しみきれいな川づくりPJ 257,825 円 里山を守り育てるPJ 159,750 円 びわ湖を守ろうPJ 174,482 円 環境活動支援PJ 636,135 円
事 務 費	150,000	0	150,000	85,738	64,262	通信運搬費、消耗品費等
予 備 費	289,570	0	289,570	0	289,570	
合 計	1,985,570	0	1,985,570	1,569,000	416,570	

#### 令和 4 年度 収支決算の結果

収入決算額 1,952,570 円

支出決算額 1,569,000 円

---

収支差引き額 383,570 円

差引き額の 383,570 円は、令和 5 年度に繰越する



令和4年度 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

会計監査報告

監査結果

令和4年度環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」の収支決算について監査を行った結果、帳簿の記載及び領収書等の関係書類はいずれも適正に処理され、決算金額は正確であったので報告します。

令和5年4月11日

監事 河本正信 

監事 山田セツ子 

## 第3号議案

### 令和5年度 事業計画（案）

#### <活動方針>

令和4年3月に野洲市第2次環境基本計画を改訂後、今年度は2年目になります。えこっち・やす各プロジェクトでは、例年実施している取り組みを継続すると共に、昨年度に新たに実施しました地球温暖化に関する学習会や、環境団体と連携した3Rに関する取り組みなども引き続き継続します。

また、各プロジェクト間の交流を図り、各プロジェクトに基づく施策や取り組みをSDGsと関連付け、環境施策を広い視野で効果的に展開し、様々な問題解決を推進します。

なお、第1次環境基本計画から携わっていただいているメンバーの高齢化等により、活動人数が減少しており、人材の育成や今後の担い手不足という課題があるため、早急な人材確保に努めなければなりません。事業所や市民との情報交換の場づくりや、SNS等をうまく活用し、これまで以上に広く情報発信に努め、更なる展開と会員拡大を目指します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## まちなかの緑づくりプロジェクト



実施主体：緑の推進委員会  
やす緑のひろば

### ① 河辺林の保全活動 継続

野洲川河辺林（野洲川北流跡自然の森）において、毎月第1火曜日、第3土曜日および第4木曜日に、一定のエリアで侵入竹を計画的に伐採して樹木の森として次世代に残すこと目指します。また、森の中の各ひろばや散策路や出入り口も整備し、地域の人々の憩いの森、子供達の自然体験の森を目指します。隣接の野洲川河川管理エリアのミニ三上山、ミニミニ三上山周辺の整備も行い、自然の森の魅力を向上させます。

### ② 河辺林での自然体験学習イベント 継続

#### ➤ カブトムシ幼虫観察会

北野小学校2年生を対象に、野洲川北流跡自然の森にて、カブトムシの幼虫観察会を実施します。森の中を探索しての自然体験活動も行います。

#### ➤ タケノコ掘りイベント

子どもと保護者を対象に、森をめぐり、タケノコを採り、そして焼きタケノコとして試食を行い、身近な河辺林の自然の恵みを体感します。

#### ➤ 秋の自然観察会

子どもと保護者を対象にした森の中を巡る自然観察会を開催します。森の巡回や竹細工づくり等の体験後に竹飯を味わい、楽しみながら自然観察を行います。

### ③ 公共施設の緑化 継続

公共施設などの敷地内の樹木の養生を可能な限り地域団体と協働で行います。

### ④ 緑化のための研修・啓蒙 継続

#### ➤ 樹木の管理と剪定講習会

一般参加者等を対象に、樹木医を講師として、樹木管理の基礎と剪定講習会を実施します。

### ⑤ 市内緑化推進のための施策検討 継続

市の緑化政策を勉強し、推進に有効な施策を市と協働で検討します。



## ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会



### ① 環境学習会 継続

地球温暖化防止につながる市民向け連続講座を企画します。知恵や工夫を出し合い地域や家庭などで取り組める内容を広報していきます。

### ② 廃食油の回収 継続

毎月第4土曜日に市役所敷地内で集めます。引き続き集めた廃植物油は、NPO 法人 碧いびわ湖の協力を得てリサイクル(固体石けん、液体せっけん、BDF)につなげます。また、市では市内13箇所で廃食油を集め、リサイクルにつなげます。

### ③ 体験型出前講座 継続

古紙を繊維にもどした材料から、紙漉きの要領でリサイクルペーパーアートの作品作りをします。この機会を通して雑紙回収拡大につなげます。集めた廃食油を材料にエコキャンドル作りをします。

### ④ リユースステーションでの無償譲渡 継続

野洲市クリーンセンターにおいて、家庭で不要に届いた小型家具、食器等の再利用を促進します。リユースステーションについては平日に開場します。

### ⑤ 訪問研修 継続

リユースやリサイクルの取り組み事例を見聞し、今後の活動に活かします。

## ごみ減量プロジェクト



実施主体：ごみを減らそうプロジェクト

### ① 出前講座等での啓発活動 継続

- ・ 雑がみ、ごみ減量出前講座・食品ロス削減寸劇・環境啓発人形劇
- ・ ごみ減量啓発紙芝居・ごみ分別クイズ・エコダンス

野洲市を背景にしたオリジナルストーリーの寸劇や紙芝居、人形劇の他、ごみ分別クイズやエコダンスを用いて楽しくごみ問題を考える機会を提供する他、パワーポイントを使用した講座等を、小学校での環境学習やふれあいサロン等で実施します。

## ② 環境に優しい買い物キャンペーン 継続

滋賀県や市と連携し、スーパー店頭で清潔なマイバッグ持参や食品ロス削減の他に、マイボトルを携帯しプラスチックごみの削減の呼びかけを行います。またキャンペーンに先立ち、市内小売業者と各自治会・コミュニティセンター等に啓発ポスターの掲示を依頼し広く市民に啓発を行います。

## ③ ごみ減量等に関する学習会 継続

ごみを減らすために先進的な取り組みをされている自治体や事業所などへの視察研修や、学習会を実施します。

## ④ 雑がみ啓発ポスターキャンペーン 継続

出前講座を実施する市内小学4年生を対象に、雑がみ回収や資源化をテーマとしたポスター作成を依頼し、啓発ポスターとして地域自治会へ掲示の協力を呼びかけます。

## ⑤ ごみ拾い活動 継続

市内の美化啓発を目的に、年に2回以上のごみ拾いに努めます。また、市民が気軽に参加できるごみ拾いイベントを開催し、市民と交流を深める場づくりに努めます。

## ⑥ フードドライブの実施 継続

市内公共施設にて、家庭で余っている未利用食品を集め、フードバンク団体や地域の子ども食堂などに寄贈し、未利用食品の有効利用に努めます。

## 地球温暖化対策推進プロジェクト



実施主体：えこっち・やす事務局（環境課）

## ① エコドライブの啓発 継続

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及啓発を実施します。

## ② 気候変動対策の啓発を事業所との連携 継続

家庭で取り組める気候変動対策を周知し、市民の気候変動への危機意識を高めます。事業所の取り組み事例等を研修する機会を設けます。

## ③ 緑のカーテン 継続

省エネ対策として、室内温度の上昇を抑制する緑のカーテンを、庁舎内や公共施設で実施します。

## みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト



実施主体：NPO法人家棟川流域観光船  
家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト  
祇王井川・中ノ池川の清流を守る会

### ① 河川清掃活動 継続

市民団体、河川流域のや地域住民、企業などと連携し、童子川・中ノ池川・祇王井川の不法投棄ごみの回収作業を定期的の実施します。

### ② ビワマスを戻す取り組み 継続

「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」により、専門家、企業、市民、行政と協働して、家棟川を遡上するビワマスの生息環境の保全・再生に取り組みます。具体的にはビワマスが産卵しやすい産卵床の造成や稚魚が成育しやすい河川環境の整備等、琵琶湖から上流の街中までビワマスが遡上できる良好な河川環境の保全に努めます。また、市民への啓発として、ビワマスフォーラムを開催し、本取り組みの意義と活動成果を報告します。

### ③ 家棟川エコ学習会 継続

市内自治会や子ども会などと連携し、多くの市民に手漕ぎのエコ遊覧船に乗ってもらい、家棟川の水質検査や不法投棄ごみの実情観察などが体験できる環境学習会を開催して、環境保全の必要性を啓発する。

### ④ 家棟川流域の生態調査 継続

琵琶湖環境科学研究センターの協力のもと、童子川・中ノ池川・祇王井川の水質調査と魚類の生態調査を、年3回（春・夏・秋）定点で実施します。

## 里山を守り育てるプロジェクト



実施主体：山部会

### ① 里山・林道の保全作業 継続

毎月、第1第2土曜日、第3水曜日に山作業を行います。

#### ➤ 小堤生産森林組合のエリア

城山主郭の草刈りと曲輪の整備、登山道入口の路肩整備と谷川整備、依頼を受けたエリアの杉・桧の間伐を中心に行います。

#### ➤ 大篠原生産森林組合のエリア

大山川溪流の整備、旧林道の道整備、倒木処理、貯木場の草刈り、森学校の遊歩道の整備、子どもや市民参加の行事のための道整備などを行います。



## ② 子どもや市民が里山に親しむ活動 継続

市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさ、里山の歴史について知ってもらい、里山の大切さについて理解を深めてもらうためのイベントを行います。

- 篠原小学校「伊勢道峠越え」案内
- タムシバ山から城山登山
- 里山自然観察会
- 秋の里山登山
- 城山初日の出登山

## ③ 森づくり塾 継続

里山案内人としての技量や知識を得るため、山部会員や市民が山作業の方法や生き物・山作業・里山の歴史について実習・学習を実施します。

## ④ 野洲の山を知る探索 継続

毎月第 4 土曜日に、野洲の山の現状や季節ごとに変化する里山の面白さを知る探索を行う。同時に動植物の生息状況も把握します。

また昨年に引き続き、レスキュー杭の点検補修も行います。

## ⑤ 他団体やプロジェクトとの協働活動・交流 継続

コミュニティセンターでの収穫祭に参加し、山部会の活動をPRします。また、自然分野の川プロジェクトと協働で家棟川・琵琶湖の生態調査に参加する他、緑の推進委員会とも協働による森林整備を行います。さらに野洲クリーンセンターと共にクリーンセンター裏の谷においてタゴガエル生息確認調査を行います。

# びわ湖を守ろうプロジェクト



実施主体：びわ湖の水と地域の環境を守る会  
野洲市びわ湖を守る会

## ① びわ湖環境学習とヨシ苗づくり 継続

公益財団法人淡海環境保全財団と連携し、小学 4 年生を対象にした環境学習の中で、琵琶湖とヨシについて学習会を行います。また、ヨシ苗を育苗するためヨシ苗ポットづくりを行い、学校の中庭にある池で育苗を行います。育てたヨシ苗は湖岸へ移植します。

## ② ヨシ群落再生事業の経過観察 継続

これまで企業によるヨシ植栽の他、各種団体や事業所等と連携し、市民参加型のヨシ植栽イベント等を実施してきたヨシ群落再生事業について、植栽後の経過観察を継続して行います。また、関連団体のイベントと協働し、ヨシの補植や湖岸の景観を保全するための松林保全（下草刈作業）活動等に参加協力します。

### ③ びわ湖環境学習会 **継続**

#### ➤ 砂浜学習会

船上において川の話や環境の話聞き、刺網や投網で取れた魚の生態調査を行います。また、あやめ浜で湖魚料理を食べながら、びわ湖の今と昔について話し、学習機会を作ります。

#### ➤ あやめ浜まつり

あやめ浜でのシジミ採り体験、湖魚料理による食文化体験など、琵琶湖に親しみながら、琵琶湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図る啓発イベントを開催します。

### ④ 漁民の森づくり事業 **継続**

琵琶湖の水源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山（大篠原地先）の植樹整備を実施します。

### ⑤ 湖岸周辺の清掃活動 **継続**

あやめ浜周辺の散在性ごみや河川から琵琶湖へ流入した漂着ごみの清掃活動を年間通じて実施します。

## 第2次野洲市環境基本計画：基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」



### みんなで環境学習プロジェクト

(事務局：環境課)

#### ① 学びの場の提供 **継続**

新クリーンセンターを拠点とし、さまざまな講座や交流が図られるよう施設を提供します。

#### ② 出前講座や環境学習 **継続**

各プロジェクトでの、それぞれのテーマに沿った出前講座を実施し、子どもから大人まで幅広い市民を対象に、環境学習を進めます。

#### ③ 広報やす・SNS 等による情報発信 **継続**

インターネットによる情報発信や、各種環境学習の周知広報を図ります。また必要に応じて小学校や自治会へ周知案内を行います。

## 環境活動支援プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

(事務局：環境課)



### ① 学びの場の提供 継続

野洲クリーンセンターを拠点とし、さまざまな講座や交流が図られるよう、えこっち・やすによる環境活動の場を提供します。

### ② ニュースレターの発行 継続

各プロジェクトの活動概要をニュースレターとして、会員配布や自治会回覧、環境保全協定締結事業所等に送付し、周知を図ります。

### ③ 広報やす・SNSによる情報発信 継続

SNSによる情報発信や、各種活動の周知広報を図ります。各プロジェクト活動のイベント案内を広報やす、市ホームページを通じて月1回以上周知します。

### ④ ロゴマークによる周知 継続

活動時にはえこっち・やすロゴマーク入りスタッフベストを着用し、また周知の際には、ロゴマークを配置して認知度を高めます。

### ⑤ 各プロジェクト支援、管理等 継続

各プロジェクトの支援や把握、調整を行う事務局として取り組みます。

# 第4号議案

## 令和 5 年度 予算 (案)

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
会 費	95,500	101,500	△ 6,000	個人 @ 500 × 65 人 市民団体 @ 1,000 × 15 団体 自治会 @ 1,000 × 20 団体 企業 @ 2,000 × 14 社
補助金	1,700,000	1,546,000	154,000	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
雑 入	10	10	0	預金利子
繰 越 金	383,570	338,060	45,510	前年度繰越金
合 計	2,179,080	1,985,570	193,510	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
事業費	1,700,000	1,546,000	154,000	まちなかの緑づくりPJ 200,000 円 ごみの資源化PJ 100,000 円 ごみ減量PJ 100,000 円 地球温暖化対策推進PJ 100,000 円 みんなが親しみきれいな川づくりPJ 350,000 円 里山を守り育てるPJ 200,000 円 びわ湖を守ろうPJ 300,000 円 環境活動支援PJ 350,000 円
事務費	150,000	150,000	0	通信運搬費、消耗品 等 150,000 円
予備費	329,080	289,570	39,510	
合 計	2,179,080	1,985,570	193,510	



## 第5号議案

### 役員改正について(案)

環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」規約第7条の規定に基づき、以下の通り8名の運営委員並びに、2名の会計監事を提案する。8名の運営委員候補のうち、8名は再任である。なお、役員任期は2年間（令和5年4月1日から令和7年3月31日）とする。

役職	氏名	
運営委員	熊本 正幸	再任
運営委員	林 かずみ	再任
運営委員	増村 和美	再任
運営委員	井上 輝子	再任
運営委員	益川 教智	再任
運営委員	飯田 百合子	再任
運営委員	政本 幸三	再任
運営委員	松沢 松治	再任
会計監事	水島 左知子	新任
会計監事	山田 セツ子	再任

## 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」規約

### (名称)

第1条 この会は、環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」（以下「本会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 本会は、野洲市環境基本計画（以下「計画」という。）に基づき、市民・事業者・行政が協働して計画の基本理念「里山から琵琶湖へ、豊かな自然とくらしが調和するまち やす」の実現を目指した活動を行うことにより、持続可能な社会を構築することを目的とする。

### (活動)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 計画に定めるプロジェクトの実施に関すること。
- (2) 計画に定めるプロジェクトの成果の評価に関すること。
- (3) 環境に関する情報提供及び普及啓発に関すること。
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な活動。

### (会員)

第4条 本会は、第2条の目的に賛同して会員となる市民、市民団体、事業所及び行政機関をもって構成する。

### (入会及び退会)

第5条 本会の会員として入会しようとするものは、入会申込書を代表に提出しなければならない。

2 本会を退会しようとするものは、退会届を代表に提出しなければならない。

### (役員)

第6条 本会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 代表 1名
- (2) 副代表 2名以内
- (3) 運営委員 10名以内
- (4) 会計監事 2名以内

### (役員を選出)

第7条 運営委員は、プロジェクトより推薦された会員を総会で承認する。

2 会計監事は、会員の中から総会において選出する。

3 代表及び副代表は、運営委員の互選により選出する。

### (役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、補欠役員を置くことができる。この場合における役員任期は、前任者の残任期間とする。

### (役員職務)

第9条 代表は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副代表は代表を補佐し、代表に事故あるとき、又は代表が欠けたときは、その職務を代理する。

3 会計監事は、本会の経理について監査する。

4 運営委員は、運営委員会を構成する。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、運営委員会及びプロジェクト会議とする。

(総会)

第12条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2 通常総会は年1回開催とし、臨時総会は必要に応じて開催する。

3 総会は、代表が招集し、議長は総会出席会員より選出する。

4 総会は、本会の決議機関とし、次の事項を行う。

(1) 規約の改正に関すること。

(2) 役員を選出に関すること。

(3) 事業計画及び予算に関すること。

(4) 事業報告及び決算に関すること。

(5) その他重要な事項

5 総会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。

(代表の専決事項)

第13条 代表は、総会において当該年度の予算が決定する前に、事務又は事業の性質上必要があると認めるときには、前条第4項第3号の規定にかかわらず、運営委員会の決定に基づき、予算を執行できるものとする。この場合において代表は、次の総会において執行状況を報告するものとする。

(運営委員会)

第14条 本会の方針に基づき、必要な事業を推進するため、総会の下に運営委員会を置く。

2 運営委員会は、必要に応じて代表が招集し、議長となる。

3 運営委員会は、次の事項を行う。

(1) 予算の執行及び管理に関すること。

(2) 本会の全体事業の企画及び運営に関すること。

(3) プロジェクト間の調整に関すること。

(4) プロジェクトの進行状況の把握に関すること。

(5) その他、本会の事業の推進に関すること。

4 運営委員会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。

(プロジェクト代表)

第15条 第3条に定める活動を実施するため、計画のプロジェクトに対応した代表（以下「プロジェクト代表」という。）を設置することができる。

2 プロジェクト代表は、プロジェクトの活動を把握するとともに、その進捗状況を運営委員会に報告する。

(会費)

第16条 会員は次に定める年会費を納入するものとする。

(1) 市民（個人会員） 1口／年500円

(2) 市民団体（団体会員） 1口／年1,000円

(3) 事業所（事業所会員） 1口／年2,000円

(経費)

第17条 本会の経費は、会費、寄付金、補助金、交付金及びその他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第18条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局は、当分の間、野洲市環境経済部環境課内に置く。

(その他)

第19条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、代表が運営委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成20年(2008年)3月23日から施行する。

(経過措置)

2 発足時の役員には、本会の設立発起人をもって充てる。

附 則

この規約は、平成29年(2017年)4月21日から施行する。